

令和 2 年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	6 2	学 校 名	静岡県立遠江総合高等学校	記 載 者	樽 松 一 樹
------	-----	-------	--------------	-------	---------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者 評 価	意見
ア	基本的生活習慣の確立と規範意識の向上を軸に、心身ともに健康・健全で自他の生命（いのち）を尊ぶ心を育てる教育を推進する。	・校長身だしなみ指導 0（ゼロ）の継続 ・欠席、遅刻、早退者数の減少（昨年 1 日平均：欠席 14.9 人、遅刻 6.9 人、早退 1.4 人） ・生徒指導件数 10 件以内（昨年 16 件、延べ 30 人）（一昨年 9 件、延べ 24 人） ・挨拶が日常的に飛び交う学校 ・生徒手帳の利用率昨年比増（昨年 1 日 2 回以上利用 42%） ・自己有用感の向上（キャリアアンケート昨年比増） - 昨年 1 年 64.7%、2 年 68.1% ・生徒間のいじめ、0（ゼロ）をめざす。 ・生徒相談件数 昨年比減（昨年 延べ 163 件） ・朝食摂取率 95%以上（昨年 93.7%） ・集会、式典において校歌を声高らかに歌える。（目指す生徒像）	A	A	・欠席等の数が減少していることは評価できる。 ・秋ごろに欠席等が増えてしまうのは、夏休み明けの中だるみの影響なのでしょう。 ・効果を斉唱できないというコロナ禍の状況が早く収束して欲しいと思います。生徒の一体感が得られる貴重な機会であると思っています。 ・普段の挨拶や聴く力がしっかりできている生徒が多くなっている印象を受けます。 ・コロナ禍を受け、積極的な相談活動を実施するなど柔軟な対応もあり評価している。
イ	系列・年次・教科を超えた協力体制のもと、遠高 16 の力の育成をめざしたキャリア教育の定着と改善を図り、多様な進路実現をめざす。	・生徒アンケート（研修課主管）で「キャリア教育を推進している」が昨年比増（昨年 85.3%、一昨年 84.3%） ・キャリア教育に関する評価アンケートで、『聴く力』と『計画的に取り組む力』に関して「できない」と回答する生徒 0%、『自ら行動する力』と『学びに向かう力』に関して「できる」又は「ややできる」と回答する生徒 75%以上 ・2 年次への円滑な移行とキャリア学習の接続をサポートする。 ・進路決定率 100%（3 年次） ・希望進路決定率 2 年次 80% 1 年次 60%以上	A	A	
ウ	学習習慣の定着を柱にした基礎学力の向上ならびに、全ての教科科目でわかりやすく、主体的な学びをめざす授業改善と評価の改善に取り組む。	・家庭学習時間 1 日平均 60 分、定期テスト 1 週間前から 90 分をめざす。 ・落ちついた朝読書の定着と新聞活用指導の継続 ・図書室の利用者数増 ・定期訪問時の研究授業や研究協議の参加率 100% ・全教員がアクティブラーニングを意識した授業を管理職の授業観察時に実践（実施率 100%） ・授業公開週間時の授業参観率 80%以上 ・測定ツールで把握した学力に基づき、授業改善に取り組んだ教員 80%以上 ・年 2 回の授業アンケートの実施と活用（継続） ・全科目で評価方法の点検を行い、シラバスに反映させる。（実施率 100%）	B	B	・授業に対する満足度と学力定着の相関は高い傾向は間違いないと考えられます。今後に期待しています。 ・対面での授業が良いものであると生徒も先生も改めて思われているようで、今後のハイブリットの授業も楽しみです。満足度が上がることが学力向上につながっていると信じています。

様式第 5 号

エ	新学習指導要領への移行、高大接続改革の進行を踏まえ、新しい教育課程の検討を軸にしたカリキュラムマネジメントの推進を図る。	・教育改革、高大接続改革の理解を深めるための校内研修の実施と外部研修への積極的な参加 ・教育課程の点検、検討を進める。(社会に開かれた教育課程を意識) ・ポートフォリオの導入、実践 ・校務内規の点検継続 ・ESD (持続可能な開発のための教育) の理解推進	A	A	・ESDでお手伝いできることがあったらお声がけください。 ・マッチングフェスタなど本当に様々な尽力の様子が伝わってきます。
オ	双方向の積極的な地域連携と外部発信により、社会に開かれ、地域に愛される学校づくりを推進する。	・キャリア教育に限らず、生徒自身が地域に出て行く機会を増やす。 ・各部活動による年 1 回以上のボランティア活動の実施 ・系列や専門分野での外部人材の活用推進 ・学校案内をさらに見やすく改善する。 ・学校だより、学校新聞の内容を点検し、各 2 回発行 ・学校ブログの更新、週 1 回以上 ・各部活動の活動状況、学校行事の様子等を、大会や行事終了後 1 週間以内に、ホームページに掲載する。	B	B	・ホームページを見ています。部活動報告にボランティア部の報告を入れてほしいです。 ・積極的なボランティア活動が実施されていて素晴らしいことだと思う。 ・コロナ禍の影響で機会が減少しているように感じました。 ・コロナ禍の中で活動が制約されて難しい面もあったと推察している。
カ	効率の良い業務遂行、業務改善ならびに行事の点検と精選を進め、職員の適正なワークライフバランスの推進と安全・安心な教育環境の整備に努める。	・年 3 回の防災訓練のうち、事前通知なしの訓練の導入検討 ・学校警備及び防災計画の継続的な点検、改善 ・時間外勤務の出勤簿への正確な記入 ・1 ヶ月あたりの時間外勤務 45 時間以内、年間 360 時間以内 ・夏季休暇の完全取得 ・定時退勤日午後 4 時 40 分退勤励行 午後 6 時完全退勤 ・平常日午後 7 時退勤励行 午後 8 時完全退勤 ・部活動ガイドライン履行達成率 80% ・コンプライアンス研修毎月 1 回・教職員の不祥事 0、体罰 0 ・監査・検査等の指示・指摘事項 0 ・日頃からの清掃、点検、整備(校舎内外、農場含む)、危険箇所等の早期発見と改善に努め、施設に関する事故 0	A	A	・職員の皆さんの努力の賜物で不祥事が 0 となっていると思います。 ・働き方改革が言われている中、先生方がコロナ対応で大変ご苦労されている様子でただただ頭が下がる思いです。